

信州職人学校・第15回公開講座

日本人なら瓦屋根

長野県建設労連では、伝統技能を次世代へ継承するため、県や内外関係者とタイアップし、中堅大工を対象とした「信州職人学校・伝統大工コース」を2009年より開講しました。

このコースは、信州の歴史と風土をふまえ、建築大工としての伝統的技量の向上を図るとともに、現代の多様なニーズの中で新たな仕事分野を開拓しうる能力の育成をめざすもので、毎週土曜、半年間の訓練を行ないます。経験に応じ「基礎コース」と「応用コース」を設け、今年度は応用コース2期生の訓練を実施します。

この公開講座は、受講生の座学を兼ねて、通常の授業では盛り込めない内容をテーマに、広く一般市民も参加できるオープンセミナーとして、定期的に行なっています。

今回は、伝統建築とは切り離せない「かわらぶき」技術の奥深い世界に触れます。長年、粘土瓦の製造・工事に従事され、特に、社寺のかわらぶき技能に優れており、国重要文化財など多数のかわらぶき工事においてその技能を発揮されている小笠原多加夫氏をお招きし、北信地区における瓦の歴史や信州の職人の「技や心意気」について語っていただきます。

日時：2012年6月2日(土) 10:40～12:10

会場：長野県松本技術専門校視聴覚教室(松本市寿北7-16-1)

受講料：無料 定員：50名(定員になり次第締切)

講師：小笠原 多加夫 氏(株小笠原瓦店 代表取締役)

【講師プロフィール】

昭和55年、四代目を継ぎ(有)小笠原瓦店代表取締役に就任。現在、(株)小笠原瓦店の代表取締役。平成5年、卓越知事表彰「信州の名工」、平成17年、全技連マイスター認定、平成20年、卓越した技能者表彰「現代の名工」。「瓦屋のおやし」を自認、納得のいくまじめな仕事を信条とする。伝統工法をかたくなに守る。ふいた無数の瓦が縦横に描く曲線は重層的で、その美しさは「これぞ職人技」と見る者をうならせる。住宅が主だが、国指定史跡「真田邸」や「文武学校」などの多くの文化財を手掛ける。

「無数の瓦が描く曲線は重層的」



上：国指定史跡「真田邸(新御殿)」
下：国指定史跡松代藩藩校「旧文武学校」(いずれも長野市松代町松代)

申込方法：別紙申込用紙により5月25日(金)までにFAXにてお申込下さい。

主催(申込・問合せ)：長野県建設労連 伝統建築技能継承事業運営委員会

〒390-0864 松本市宮渕本村 1-2 建労会館 長野県建設労働組合連合会
TEL0263(39)7200 FAX0263(39)7202〔担当：宮川、矢ヶ崎、吉田〕

FAX 0263-39-7202

長野県建設労働組合連合会 / 伝統建築技能継承事業運営委員会宛
担当 / 宮川、矢ヶ崎、吉田

信州職人学校第 15 回公開講座 受講申込用紙

講師：小笠原 多加夫 氏【(株)小笠原瓦店 代表取締役】
演題：『日本人なら瓦屋根』

開 講：2012 年 6 月 2 日（土） 午前 10 時 40 分～午後 12 時 10 分
会 場：松本技術専門校（松本市寿北 7 - 1 6 - 1）
受講料：無 料

| | | |
|--|--------|---|
| 申込者氏名 | | |
| 組合名 <small>< 組合に所属し ていれば記入 ></small> | | |
| 連絡先 | 事業所名 | |
| | 住所 | 〒 |
| | TEL | |
| | FAX | |
| | E-mail | |
| 要望など | | |